

2022年3月7日

2021年度ハンドボール競技規則改訂における「ボール規程」変更に関して（第七報）

指導普及本部長 三輪一義
育成委員長 竹内貞明
中学生専門委員長 佐藤直博

『2021年度ハンドボール競技規則改訂における「ボール規程」変更に関して』について、様々に情報共有をさせて頂き、最新では2022年1月24日に第六報を発信しております。

その第六報では、中学生におけるボール規程に関して、2022年度は<テスト・イヤー>とし、練習での消耗、大会での耐久、グラウンドでの使用、両面テープによる影響、ボールメーカーの相違点、等々の様々な主観的・客観的データを全国から収集し、日本の育成年代におけるボール規定について、データを揃える年と位置づけることとしました。

その一環として、2022年8月に開催される「全国中学生ハンドボールクラブカップ2022」<中学生クラブチームの全国大会：2022年度より大会名称変更、於：埼玉県さいたま市>では、新規程ボールに関して以下の決定事項となりましたので、お知らせ致します。

1. 大会球は、モルテン<d60>とする。
2. 男子は2号球（H2D4000-RW）、女子は1号球（H1D4000-BW）とする。
3. 大会における松ヤニおよび粘着スプレー、および両面テープの使用は不可とする。

上記の決定に関しては、<2022テスト・イヤー>の中で、全国大会を通して、両面テープを使わないことによる「ボールの耐久性」、「素手によるパフォーマンスへの影響」等の検証をすることになります。

※ 2022年8月の全国中学校大会（於：北海道函館市）では、大会球はモルテン<d60>とミカサ<HB40B シリーズ>を使用することが全国中体連主催大会として既に決まっております。

※ 2022年8月の全国小学生大会（於：京都府京田辺市他）では、大会球はモルテン<d60>を使用し、「大会における両面テープの禁止」が2021/12/12開催の小学生専門委員会で決定されております。

PLAYERS CENTERED（プレーヤーズ・センタード）を大前提に、2022年度は様々な方面・角度から検証を進めてまいりますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。